

からだや顔が腫れ(むくみ)ました

概念

からだや顔がむくむときは、一般的には身体に余分な水分が溜まっていることが原因です。身体がむくむことは誰にでも一度は経験があることと思いますが、むくみがなかなか消えない場合や、むくみが徐々に悪化する場合は、医療機関を受診し原因を調べる必要があります。

むくみの症状

代表的なものとして、足のむくみは一般的に知られていると思います。重力の関係で、身体の余分な水分は足に溜まる傾向があるからです。しかしながら、身体にむくみがある場合は胸に水分が溜まる(胸水)場合や、肺に水分が溜まる場合(肺水腫)があります。その際は呼吸が苦しい、動くと息苦しいなどの症状が出てきますので、早めに医療機関を受診する必要があります。

診断

様々な病気でむくみを認めます。代表的なものを下記に挙げます。

- 1) 心臓の病気：心臓が弱って心不全になっているとき
- 2) 肺の病気：肺が悪く、心臓に負担がかかっているとき
- 3) 腎臓の病気：腎臓が悪く、水分がうまく排泄できないとき
- 4) 肝臓の病気：肝臓が悪く、血液中のタンパク質が少なくなっているとき

5) 甲状腺の病気：甲状腺の機能が低下している場合、むくみを認めることがあります

6) がん：肺癌でも顔がむくむことはありますし、様々な癌の手術後にリンパの流れが悪くなり、身体がむくむことがあります

様々な病気でむくみを認める可能性がありますので、適切な検査を受け、原因を調べる必要があります。例えば、心臓や肺の病気がある場合は、まずは胸のレントゲンが必要ですし、腎臓や肝臓、甲状腺の病気の場合は、まずは血液検査が必要となります。

治療

むくみの原因となる病気の治療が必要となります。

一般的には、身体に溜まった余分な水分を排出する薬(いわゆる利尿薬)を使うことが多いです。点滴の薬もあれば、内服薬もあります。短期間だけ使用する場合もあれば、長期間の使用が必要となる場合もあります。

ただし、腎臓や肝臓が悪い場合は血液中のタンパク質が少なくなり、むくみが起きている場合もありますので、その際は身体のタンパク質に対する治療が中心となります。

むくみがあるときは？

一般的な注意としては、むくみがあるときは、身体に余分な水分が溜まっている状態なので、塩分や水分を控えることが必要でしょう。しかし、塩分や水分を控えすぎると脱水の危険が増してし

まいますので、やはりむくみの原因を調べる必要
はあるでしょう。むくみは一般的な症状ですが、
むくみがなかなか消えない場合や、むくみがあり

呼吸が苦しい場合は早めにかかりつけ医に相談す
ることが必要です。

(2016年12月)

MEMO

日本呼吸器学会では学会ホームページにて「市民のみなさま向け」に様々なコンテンツを公開しています。ぜひご覧ください！



呼吸器の病気

Respiratory disease

『疾患別』に症状や、診断・治療方法を解説しています。

呼吸器

Q&A



『症状から』対応方法などをQ&A形式でお答えします。

※ここに書かれている内容は、あくまで一般的なものであり、必ずしも貴方の病気にあてはまらない事
ありますので、この内容を参考にし、呼吸器の専門医の診察を受けてください。

日本呼吸器学会
ホームページ

www.jrs.or.jp/